

第6期 事業報告書

自 2020年2月1日
至 2021年1月31日

特定非営利活動法人アジアパシフィックアライアンス・ジャパン
佐賀県佐賀市松原 1-3-5 まるなかビル 6階

1. 総括

2019年12月に中華人民共和国湖北省武漢市で初めて確認された感染症は、翌年1月より世界各国に拡大し、ほぼ時期を同じくしてスタートした第6期は、その新型コロナウイルス感染症対策に始終した一年であった。特に4月・5月の台風や大雨の時期を目前に、複合災害の事態に備えた準備に注力した。加えてウイルスの正体が不明で明確な対応策が出されない中、A-PAD ジャパンは専門家からのアドバイスを受けながら、最前線の医療機関および医療従事者や脆弱な高齢者を対象とした支援活動から始め、徐々に保育所や子どもの居場所など、徐々に一般市民へと支援対象を拡張した。

2020年7月に日本列島ほぼ全域に梅雨前線が停滞し、長期間の大雨がもたらされた。この令和2年7月豪雨で九州も大雨に見舞われ、球磨川氾濫で甚大な被害を受けた熊本県人吉市を中心に緊急対応を実施したほか、大分県日田市、福岡県久留米市にも避難所等への物資支援を行った。

A-PAD ジャパンが力を入れてきた企業連携においては、A-PAD ジャパンも立上げに参画した企業連携のSEMA（緊急災害対応アライアンス）、福岡の企業連携「ネットワーク福岡地域戦略推進協議会／九州豪雨災害支援コンソーシアム（FDC）」との協働、また個別企業からも支援の申し出をいただくなど、多くの企業の協力で支援活動が実現できた。特に災害支援に賛同する企業が名を連ねているFDCは、ネットワークを一元管理する事務局があり、A-PAD ジャパンが被災地から得た情報を迅速に共有し、即座に必要な支援物資が取りまとめられ、企業から直接被災地へ物資が届くというシステムであり、今後の災害時の体制も協議していきたい。

自治体との連携については新たに佐賀県の武雄市と災害時の支援協力協定を締結した。自治体との防災協定は同県佐賀市、大町町に次ぐ3例目である。災害時の物資の供給のみならず武雄市が推進する避難所の環境整備や防災研修にも協力することになっている。

またA-PAD ジャパンが保有していた災害専用小型機（コマンダー機）は、空飛ぶ捜索医療団「ARROWS」事業を共に実施する姉妹団体ピースウィンズ・ジャパンに譲渡し、所有者変更を行った。今後も引き続き「ARROWS」事業で活用される。

ファンディングについては佐賀県のふるさと納税寄付の継続とともに、本年度は、特に海外からの寄付が集まった。英語版のHP アップデートを頻繁に行ったことも含め、これまでの活動が広く支持されていることであり、引き続き国内外へ向けた広報にも力を注いでいく。

2. 事業報告

2-1 緊急災害支援

●2-1-1 新型コロナウイルス感染対策支援

【中国支援】

2020年1月から開始した中国への新型コロナウイルス感染対策支援では、2月5日に姉妹団体より日本人スタッフを中国へ派遣。現地 IHWI（国際医療福祉機構）と連携し、春秋航空社の協力を得て医療物資 1,000 kg を旅客機でスタッフが輸送、翌6日には上海市の公共衛生臨床センターに物資が届けられた。（支援物資：防護服や医療用のマスク、長靴、グローブ、絆創膏、採血セットや止血圧迫綿、滅菌ピペットなど。備蓄品の他、佐賀県の町立太良病院から寄付された感染症対策医療セットも含む）



【国内支援】

<長崎停泊のクルーズ船へ医療チームを派遣>

長崎市の三菱重工業長崎造船所香焼工場に停泊中のイタリア籍クルーズ船「コスタ・アトランチカ号」で、新型コロナウイルスのクラスター感染が起こった。長崎県からの要請を受け、「空飛ぶ捜索医療団 ARROWS」は、4月28日より医師・看護師を含むチームを現地に派遣し、A-PAD ジャパンのトレーラーもチームスタッフの休憩場所として活用した。



<マスク支援>

1月以降、コロナウイルス感染拡大に伴い、マスクや消毒液が全国的に枯渇した。特に医療現場の深刻な状態物資不足を少しでも緩和するため、村上財団、認定NPO 法人フローレンス、東京医師会、千葉県医師会などと協力し、全国の小規模医療機関や医療的ケア児童へ配布を開始、徐々に児童施設や高齢者施設、福祉施設などにも広げていった。多くの感謝のメッセージが寄せられた。



（支援マスク数：医療機関・介護施設 90 万枚以上、NICU/新生児特定集中治療室や医療機関へサージカルマスク 140 万枚）

<トレーラー・クリーンパーテーションの貸与>

4月、A-PAD ジャパンは姉妹団体のCF（シビックフォース）と協働で、佐賀大学医学部附属病院にトレーラー2台と大型クリーンパーテーション1台（空気清浄機、感染症対策製品）を貸与した。医療機関での院内感染を防ぐため、発熱者を病院敷地内にて待合い、検査、診察するための施設として活用された。



<テントの貸与>

4月、大阪淀川キリスト教病院、佐賀大学医学部附属病院にそれぞれに1張ずつを貸与した。活用目的は上記トレーラーと同じである。



<避難所運営はじめてハンドブックの作成・配布>

コロナ禍＋自然災害発生という複合災害の避難を想定し、避難所運営のガイドラインとしてハンドブック2,000部、ポスター2種類500部を作成、まずは佐賀県に贈呈した。その後県内すべての市町にも贈呈し、またA-PAD ジャパンホームページからもダウンロードできるように公開している。



＜個人用衛生キットの備蓄＞

コロナ禍の災害発生時に避難所にいち早く届けられるよう、感染症から身を守る個人用の衛生キットを用意した。資金は佐賀県のふるさと納税寄付にて327万円もの寄付により、キット800セット以上を作成することが可能となった。



●2-1-2 令和2年7月豪雨被災者支援事業

7月3日から約1ヶ月にわたり日本付近に停滞した前線の影響で、暖かく湿った空気が継続して流れ込み、大雨による被害が発生した。特に熊本県南部では記録的豪雨により7月4日球磨川が氾濫し、各地で土砂崩れや浸水被害が発生した。人吉市では町全体が水に浸かり、住宅などで大規模な浸水被害が発生した。7月4日、A-PAD ジャパンは佐賀市内の倉庫に備蓄していたマスク等の支援物資を車両に搭載し人吉市内で調査と初動での支援を開始。

以降、佐賀から車で複数回にわたって8月末までの約2か月にわたり物資の支援を継続した。また、大分県日田市、福岡県久留米市の避難所等へ支援物資を届けた。現地の物資のニーズを確認しながら、SEMA や九州豪雨災害支援コンソーシアム他、企業への支援要請を行い、連携して支援内容も幅広く行うことができた。主な支援内容は下記の通り。

九州豪雨災害支援コンソーシアム



日付	支援先	支援内容	他、協力企業と支援物資
7/4	人吉スポーツパレス（避難者約500名）、人吉東小学校（避難者約40名）4日現在	避難所運営ハンドブック、マスク大人用9,000枚、子ども用マスク1,800枚、消毒液500ml×14本（+20L）、非接触型体温計30個	ゼリー飲料1,260食（森永製菓様） クリーム+ローション400本（山田養蜂場様）

7/6	人吉市立第一中学校 (人吉市)、 旧県立多良木高校(多 良木町	非接触型体温計 3台、エマ ージェンシーテント10張、 ブルーシート10束、家庭用 塩素系漂白剤 24本、靴下 6,000足、下着 1691枚、 肌着 961枚、給水袋 100 枚、大人用おしりふき 624 パック、赤ちゃん用おしりふ き 480パック おしぼり 1,100個、ウェッ トティッシュ 128個、子ど も用おむつ 47パック、箱テ ィッシュ 72箱 ・協力企業ご提供物資	水 ペ ッ ト ボ ト ル 2,400 本 (SEMA/Oisix 様) ゼリー飲料 3,600 個 (森永製菓様)
7/8	北野生涯学習センタ ー(久留米市北野町)、 北野小学校(久留米市 北野町	非接触型体温計 2個、マスク 2,540枚、家庭用塩素系漂白 剤 16本、靴下 1,300足	枕 114個、バスタオル 114枚、 マットレス 14枚 (IKEA 福岡新宮様) ゼリー飲料 720個 (森永製菓様)
7/9	人吉市立第一中学校 (人吉市)、旧県立多 良木高校(多良木町)、 球磨村総合運動公園	扇風機 4台、ブルーシート 5 束、ボールペン・メモ帳 1 箱、蚊取り線香 10缶、靴下 6,000足	肌着(上) 2,020枚、 肌着(下) 2,000枚、 子ども用肌着(上) 1,995枚、 子ども用肌着(下) 501枚 (SEMA/GUNZE 様) キャリーバッグ 300個、 電源タップ 50個、 乾電池 10ps×30個、 時計 30個、 衣類ケース 130個 (IKEA 福岡新宮様) 運送 (SEMA/ハート引越センター)
7/10	人吉第一中学校、筑後 川コミュニティ財団	大人用マスク 750枚、子ど も用マスク 120枚、消毒液 6 本、のど飴 1袋	マットレス 130枚 (SEMA/三井化学 様) マットレス 83個 (SEMA/スノーピー ク様) 運送 (SEMA/ハート引越センター) ゼリー飲料 216食 (森永製菓様) 化粧品 50個 (山田養蜂場様)

7/11	おもやりボランティアセンター	非接触型体温計 6 個、マスク 500 枚、消毒液 4 本	ゼリー飲料 2 箱 (森永製菓様)
7/16	人吉スポーツパレス		肌着 (上) 100 枚、肌着 (下) 100 枚 (SEMA/いづみ様) 長袖カーディガン 100 枚、半袖 T シャツ 200 枚、小児用半そで T シャツ 200 枚 (SEMA/アダストリア様) 小児用靴下 210 足 (SEMA/福助様) 枕 36 個、スリッパ 125 足、マットレス 31 個 (IKEA 福岡新宮様)
7/16	久留米市災害ボランティアセンター		T シャツ 200 枚 (SEMA/アダストリア様) 大判タオル 50 枚、ハンドタオル 48 枚 (IKEA 福岡新宮様) ゼリー飲料 360 食 (森永製菓様) 靴下 200 足 (レフロジャパン様) マスク 250 枚 (ZF ジャパン様)
7/21	人吉スポーツパレス 人吉第一中学校 人吉市社会福祉協議会 (ボランティアセンター)		肌着 (上) 70 枚、 肌着 (下) 100 枚 (SEMA/いづみ様) 半袖 T シャツ 360 枚、 小児用半そで T シャツ 100 枚 (SEMA/アダストリア様) キャミソール 80 枚 (SEMA/千趣会様) 小児用靴下 100 足 (SEMA/福助様) ゼリー飲料 50 箱 (森永製菓様)
7/21	リエラ天ヶ瀬活動拠点	非接触型体温計 2 個	半袖 T シャツ 200 枚 (SEMA/アダストリア様) 小児用肌着 (上) 60 枚、 小児用肌着 (下) 60 枚 (SEMA/千趣会様) ゼリー飲料 180 食 (森永製菓様)

8/6	リエラ天ヶ瀬活動拠点		<p>スリッパ 150 足(九州豪雨災害支援コンソーシアム/住友商事様)</p> <p>ゼリー飲料 48 食(九州豪雨災害支援コンソーシアム/大塚製菓様)</p> <p>マスク 1,200 枚(九州豪雨災害支援コンソーシアム/スリー・アールシステム様)</p> <p>布マスク 500 枚(九州豪雨災害支援コンソーシアム/L is B (エルイズビー)様)</p> <p>リステリン 432 本 (SEMA/ジョンソン・エンド・ジョンソン様)</p> <p>半袖 T シャツ 110 枚 (Beams 様)</p> <p>ゼリー飲料 828 食 (森永製菓様)</p> <p>ローション&クリーム 300 個(山田養蜂場様)</p> <p>アルコール消毒液 24 本 (サンクゼール様)</p>
8/10	人吉スポーツパレス	お茶 120 本、洗眼薬 44 個	<p>シーツ 258 枚 (IKEA Japan 様)</p> <p>リステリン 240 本 (Johnson & Johnson 様)</p> <p>マスク 850 枚(九州豪雨災害支援コンソーシアム/住友商事様)</p> <p>ウェットティッシュ 24 個、お茶 120 本、防塵マスク 3000 枚 (九州豪雨災害支援コンソーシアム/グッデイ様)</p> <p>ゼリー飲料 192 食(九州豪雨災害支援コンソーシアム/大塚製菓様)</p> <p>ゼリー飲料 360 食 (森永製菓様)</p>
8/10	球磨村さくらドーム	お茶 240 本	お茶 120 本(九州豪雨災害支援コンソーシアム/グッデイ様)
8/10	人吉市ボランティアセンター	お茶 240 本	<p>塩飴 40 袋 (九州豪雨災害支援コンソーシアム/グッデイ様)</p> <p>ゼリー飲料 180 食 (森永製菓様)</p>

8/11-12	人吉スポーツパレス	男性用肌着（下）359 枚、靴下 50 枚	男性用肌着（下）359 枚、靴下 50 枚 ・協力企業ご提供物資 女性肌着（上）300 枚（SEMA/千寿会様） 女性用肌着（下）300 枚（SEMA いずみ） 女性用半袖Tシャツ 300 枚（SEMA/アダストリア様） 男性用半袖Tシャツ 300 枚（SEMA/アダストリア様） 靴下 483 枚（レフロジャパン様） 作業用ズボン 151 枚（九州豪雨災害支援コンソーシアム）
8/27	人吉スポーツパレス		・リステリン 792 本（Jhonson & Jhonson 様） ・除菌ウェットティッシュ 82 本、お茶 360 本、ゼリー飲料 192 食、体拭きシート 8 箱（九州豪雨災害支援コンソーシアム）

2-2 プラットフォーム構築事業

●2-2-1 「ARROWS」事業

A-PAD ジャパンが「空飛ぶ捜索医療団（ARROWS）」事業で保有・活用していた災害専用小型機（コマンダー機）は、2021 年 1 月 25 日に姉妹団体のピースウィンズ・ジャパン（PWJ）に、に譲渡した。航空機は引き続き「ARROWS」の事業に活用される。



●2-2-2 行政との連携

・佐賀市にサーモグラフィ体温計無償貸与

コロナ感染拡大を受け、防災協定を締結している佐賀市に対し、サーモグラフィ体温計 1 台を無償貸与した。本庁の危機管理室の入口等で活用されている。



・武雄市と防災協定締結・サーモグラフィ体温計無償貸与

1 月 28 日に佐賀県武雄市（小松政市長）と災害時等における支援協定を締結した。武雄市には 2019 年の佐賀豪雨の際に

ブルーシートなどの物資支援を行ったほか、今年 1 月にはコロナ禍の災害に備えてサーモグラフィ体温計 4 台を無償で貸与した。市町との支援協定は佐賀市、大町町に次いで 3 番目となった。

●2-2-3 企業やCSO等との連携：

・「Yahoo!防災速報」と連携

2020年9月25日に、Yahoo!防災アプリの「災害マップ」に参画した。この災害マップの連携パートナーとして、被災地における救助活動の最前線



で得た情報などを投稿・発信することで、正確な情報がいち早く、幅広く共有され、迅速な救命・災害支援活動に結びつくことが期待されている。

●2-2-4 災害支援のための設備保管と物資備蓄

佐賀県および佐賀市より物資や車両の保管用スペースを無償で提供を受け、活動の幅を広げるとともに、さらなる行政との連携を強めることができた。トレーラー等の日常点検、倉庫管理業務を継続的に実施した。主な倉庫と物資は以下の表のとおり。

場 所	提 供	物 資
佐賀空港内倉庫	佐賀県	感染症対策物資、マスクなど
佐賀競馬場駐車場	佐賀県	アメリカントレーラー（6台）※CF所有 ヨーロッパントレーラー（6台）
久保田支所車庫	佐賀市	テント、洗剤等
久保田支所北庁舎	佐賀市	簡易トイレ、パーテーション、日用品等
大和支所	佐賀市	オムツ類など

●2-2-5 企業等からの支援

佐賀県ふるさと納税を活用した寄付募集のほか、以下の指定寄付で企業等からの支援を受けた。

【新型コロナ指定寄付】

- ・ HSBC (USD 7,000)
- ・ National Instruments (USD 3,000)
- ・ Charities Aid Foundation of America (CAF) (USD 2000)
- ・ ダウ・ケミカル日本 従業員寄付 (219,946 円)
- ・ ペルミラ・アドバイザーズ株式会社 (250 万円)

【九州北部豪雨指定寄付】

- ・ 株式会社ベルテクス・パートナーズ 従業員寄付 (57 万円)